

平成29年度事業報告書

(平成29年4月1日 ～ 平成30年3月31日)

平成30年6月7日(木)

公益財団法人DNP文化振興財団

平成29年度事業報告書

(平成29年4月1日から平成30年3月31日まで)

1 アーカイブ関連事業

(1) 田中一光アーカイブ

①本人作品 ポスター	2,719 点
版画	252 点
エディトリアル	2,471 点
原画類	3,401 点
その他 (パンフ/V. I. 等)	3,007 点
②資料写真	27,668 点
その他資料類	2,776 点
③他作家作品 ポスター・版画等	1,140 点
その他	126点
④蔵書	9,421 点

(2) 福田繁雄ポスターアーカイブ

①本人作品 ポスター	1,616 点
版画	181 点
原画類	508 点
その他 (クラフト作品等)	336 点
②資料 書籍等	291 点
③他作家作品 ポスター・版画	1,368 点

(3) 永井一正作品アーカイブ

①本人作品 ポスター	913点
版画	329 点
エディトリアル	1,273 点
原画類	797 点
その他 (V. I. 等)	789 点
②資料 作品ポジ	646 点
その他資料類	2,125 点
③他作家作品 ポスター・版画等	153 点
その他	63 点

(4) ポスターアーカイブ (平成30年3月末現在)

1 収蔵作家：231名 (国内作家117名 海外作家114名)

2 総点数：12,889点

3 平成29年度の受入れ状況：

[国内作家]

井上嗣也 62点

榎本了吉 119点

サイトウマコト 227点

仲條正義 561点

計969点

[国外作家]

フィリップ・アペロワ 37点

ロマン・チェシレヴィチ 19点

ヘンリク・トマシェフスキ 2点

計 58点 合計1,027点

(5) アーカイブ作品の貸出

①グランビスタギャラリー サッポロ

「浅葉克己個展 アサバの家。」

会期：平成29年6月15日～8月1日

概要：浅葉克己作品1点を貸し出し

②高崎市美術館

「グラフィックデザイナー 佐藤晃一展」

会期：平成29年9月16日～11月26日

概要：佐藤晃一作品2点を貸し出し

③株式会社宣伝会議

宣伝会議コピーライター養成講座60周年記念イベント

「コピージウム」

開催：平成29年8月28日～9月3日

概要：浅葉克己作品1点を貸し出し

④クリエイションギャラリーG8

「GRAPH展」

開催：平成29年10月24日～11月22日

概要：北川一成作品2種 × 2枚を貸し出し

- ⑤上海当代艺术博物馆
(Power Station of Art)
(中国・上海)

「仲條正義 IN&OUT, あるいは飲&嘔吐」
開催:平成30年3月16日～5月20日
概要:仲條正義作品61点を貸し出し

- ⑥École et Espace d'art contemporain
Camille Lambert (フランス)

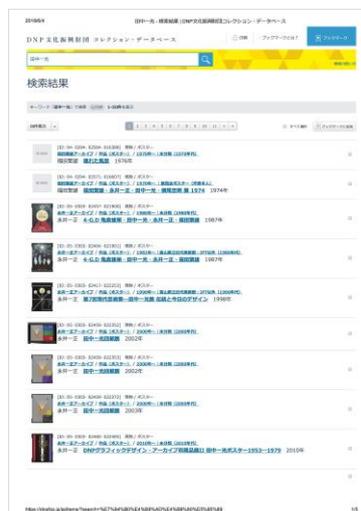
“Le livre dans L'affiche”
開催:平成30年3月10日～4月14日
田中一光作品1点を貸し出し

(6) アーカイブ作品の寄贈

- ① 平成 29 年 4 月 ポズナン国立美術館(ポーランド)に下記作品を寄贈しました。
田中一光ポスター28点、永井一正ポスター78点
- ② 平成 29 年 4 月 エシロール・グラフィックアートセンター(フランス)に下記作品を寄贈しました。
永井一正ポスター30点
- ③ 平成 29 年 7 月 ミシガン大学美術館(アメリカ)に下記作品を寄贈しました。
田中一光ポスター52点、福田繁雄ポスター22点、永井一正ポスター22点
- ④ 平成 29 年 9 月 姫路市立美術館に下記作品を寄贈しました。
永井一正ポスター336点
- ⑤ 平成 29 年 9 月、多摩美術大学に下記作品を寄贈しました。
田中一光ポスター595点、福田繁雄ポスター599点、永井一正ポスター607点

(7) 「DNP文化振興財団コレクション・データベース」の外部公開 (<https://dnpfc.jp/>)

前年より管理用に利用してきたシステムを10月1日より外部向けにWEB上で公開しました。
各種国際標準に準拠した管理用と同じデータベースを一部閲覧内容を制御して公開しています。



2 展示関連事業

(1) ggg(ギンザ・グラフィック・ギャラリー)の展示

〒104-0061 中央区銀座 7-7-2 DNP 銀座ビル1階、地下1階
日曜・祝祭日休館 11:00a.m. - 7:00p.m. 入場無料

■第 358 回 TDC2017 展

会期：平成 29 年 4 月 5 日(水)～4 月 28 日(金)

入場者：6,524 名、一日平均：311 名

毎年恒例となっている、東京タイプディレクターズクラブが主催する国際アンニュアルコンペティションの成果発表展です。タイポグラフィを軸にした国内外のグラフィックデザインの優秀作品 150 点あまりを展示しました。2017 年は TDC の設立 30 周年にあたり、海外の著名デザイナーからのエントリーも多く、豪華なラインナップとなりました。

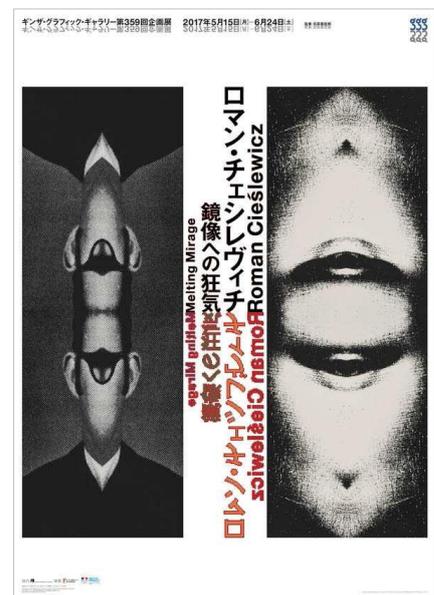


■第 359 回 ロマン・チェシレヴィチ 鏡像への狂気

会期：平成 29 年 5 月 15 日(月)～6 月 24 日(土)

入場者：6,365 名、一日平均：177 名

ポーランドを代表するグラフィックデザイナー、ロマン・チェシレヴィチの日本初となる展覧会です。鏡像を駆使したようなフォトコラージュ作品は、観る者に力強いイマジネーションを生み出します。60 年代の初期にフランスへ渡り、フランスのグラフィックデザインやアート領域にも多大な影響を与えました。今回は、ポーランド・ポズナン国立美術館の貴重な収蔵作品から、ポスターを中心に厳選した作品を展示し、チェシレヴィチの本質に迫る展覧会になりました。また、オープニングパーティには駐日ポーランド大使とそのご家族にもご参加いただきました。



■第 360 回 2017ADC 展

会期：平成 29 年 7 月 3 日(月)～7 月 25 日(火)

入場者：4,950 名、一日平均：261 名

毎年恒例となっている ADC 賞の優秀作作品展です。2016 年 5 月から 2017 年 4 月までの 1 年間に発表されたポスター、新聞・雑誌広告、エディトリアルデザイン、パッケージ、CI・マーク&ロゴ、ディスプレイ、テレビコマーシャルなど、約 8,000 点の応募作品の中から、75 名の ADC 会員による厳正な審査により選ばれた作品を展示しました。ggg では会員作品を紹介し、もうひとつの会場である G8 では一般作品を紹介しています。



■特別展 長友啓典展

会期：平成 29 年 7 月 28 日(金)・29 日(土)

入場者：1,016 名、一日平均：508 名(偲ぶ会を含まず)

2017 年 3 月、惜しくも急逝されたグラフィックデザイナー長友啓典氏を偲んだ特別展を開催しました。4 月に ddd にて K2 の展覧会を企画していたこともあり、特別展として開催しました。時代を切り取る往年の名作ポスターをはじめ、雑誌連載のシルクスクリーン作品、イラストレーション原画で構成し、長友さんがグラフィック界、出版界に残した足跡を辿りました。

一般公開に先立ち 27 日(木)には「トモさんを偲ぶ会」(主催:トモさんを偲ぶ会実行委員会)が開催され、約 740 名が来場され、内覧会という形で作品を見ながら在りし日の長友氏を偲びました。



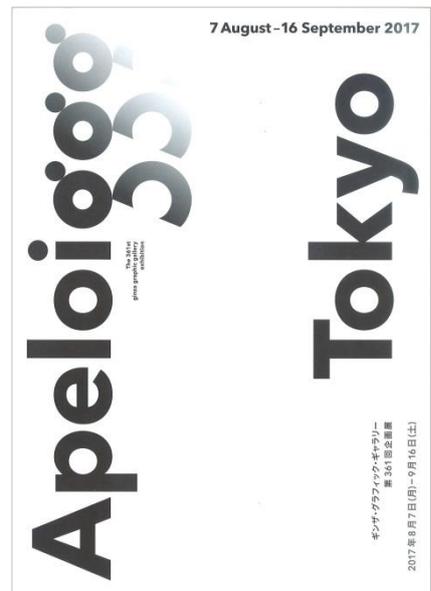
■第 361 回 Apeloiggg Tokyo フィリップ・アペロワ展

会期：平成 29 年 8 月 7 日(月)～9 月 16 日(土)

入場者：5,134 名、一日平均：147 名

現代のフランスを代表するグラフィックデザイナー、フィリップ・アペロワ氏は、オルセー美術館やルーヴル美術館など数々の文化施設の仕事を始め、国際的にその活動の場を拡げています。今回の展覧会ではアペロワ氏の最新作・近作にフォーカスし、ダイナミックなポスターをはじめ、イッセイ ミヤケ パルファムの香水 L' Eau d' Issey のパッケージや、セーブル焼磁器、企業ロゴなど、多角的な展示構成としました。

また、オープニング・セレモニーでは、駐日フランス大使・ローラン・ピック氏ほか大使館関係者が多数参加されました。



オープニングセレモニー

■第 362 回 組版造形 白井敬尚

会期：平成 29 年 9 月 26 日(火)～11 月 7 日(火)

入場者：8,180 名、一日平均：234 名

ブックデザインやエディトリアルデザインを中心に活動を続ける白井敬尚氏による展覧会です。世界中で高く評価されているデザイン誌「アイデア」のアートディレクションをはじめ、白井氏が関わってきた数多くの書籍を見開きでずらりと紹介しました。丁寧に、1 ページ 1 ページ組版を整えて制作された白井氏の手になる作品のみならず、制作にあたって参照された資料なども併せて展示しました。また白井氏と一緒に DNP の活字倉庫を見学するツアーも開催し、大変好評でした。



■第 363 回 マリメッコ・スピリッツ

会期：平成 29 年 11 月 15 日(水)～平成 30 年 1 月 13 日(土)

入場者：15,472 名、一日平均：368 名

日本をはじめ世界各国にファンを持つフィンランドのマリメッコ社は、1951 年の立ち上げ当初からデザイナーが自由に創作意欲を発揮できる環境を整え、時代を超えて愛され続けるデザインパターンを次々と生みだしてきました。この展覧会では、マリメッコの現在を支えるデザイナーの中からパーヴォ・ハロンネ、マイヤ・ロウエカリ、アイノ＝マイヤ・メツォラの 3 名に焦点をあて、代表パターンをはじめ、日本をイメージしたオリジナル作品やインタビュー映像などを通して、それぞれの個性を紹介しました。その結果、1つの展覧会としては過去最大の入場者数となりました。

なお、オープニングパーティには駐日フィンランド大使およびマリメッコ社 CEO などが参加されました。



■第 364 回 平野甲賀と晶文社展

会期：平成 30 年 1 月 22 日(月)～平成 30 年 3 月 17 日(土)

入場者：9,268 名、一日平均：197 名

京都 ddd ギャラリーからの巡回展です。(2017 年 9～10 月開催)



(2) ddd(京都dddギャラリー)の展示

〒616-8533 京都市右京区太秦上刑部町 10

11:00-19:00(土曜・日曜特別開館 18:00 まで)日曜・祝日休館 会期中一回日曜特別開館 入場無料

■第 212 回 仲條正義 IN & OUT, あるいは飲&嘔吐

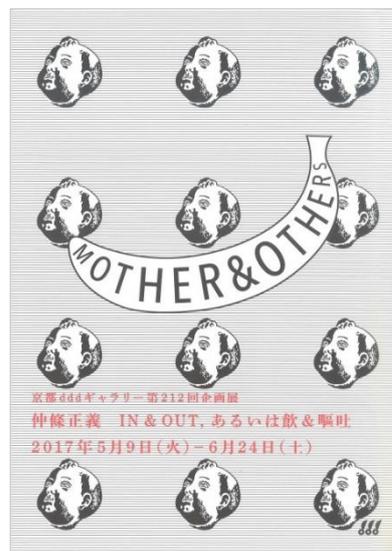
会期: 平成 29 年 5 月 9 日(火)~6 月 24 日(土)

入場者: 1,257 名、一日平均 30 名

gggからの巡回展です。(平成 29 年 1~3 月開催)

仲條正義氏の最も代表的な作品と言える資生堂『花椿』のエディトリアルデザインを紹介。併せて、「MOTHER & OTHERS」をテーマに、スイスサイズの大きめのポスター新作 22 点も展示しました。

長年活躍してきたデザインの重みと、今も持ち続ける若々しい感性を会場内で感じることができました。



■第 213 回 TDC2017 展

会期: 平成 29 年 7 月 4 日(火)~8 月 22 日(火)

入場者: 1,142 名、一日平均 27 名

gggからの巡回展です。(2017 年 4 月開催)



■第 214 回 平野甲賀と晶文社展会期: 平成 29 年 9 月 4 日(月)~10 月 24 日(火)

入場者: 1,108 名、一日平均 26 名

1964 年から 1992 年にわたりおよそ 30 年間、晶文社の本の装丁を一手に担い、当時のカウンター・カルチャーの旗手でもあった晶文社のスタイルを作り上げた平野甲賀氏による 7000 冊以上の装丁作品の中から、約 600 冊を展示しました。また舞台やコンサートのちらし、ポスターを手直しし、和紙に刷り出した作品など、およそ 80 点も展示しました。書籍は自由に手に取れる展示にし、来場された方にゆっくりご覧いただきました。



■特別展 京都 ddd ギャラリー・成安造形大学連携展「.communication」

会期：平成 29 年 11 月 13 日(月)～11 月 28 日(火)

入場者：475 名、一日平均 37 名

同大学のグラフィックデザインコースの 4 年生と卒業生、教員達が、共有するテーマ「コミュニケーションのズレ」についてフラットな関係で取り組み、コミュニケーションとデザインを学ぶ学生たちの視点で制作した作品を通じて、もの、ひと、ことの多様なズレを見出す展覧会を開催しました。ディレクションは同大学教員の大草真弓、真下武久、南琢也、の各先生。また会期中は毎日、会場内に学生が常駐し作品を解説したり、土曜日にパーティ形式のイベントを開催するなど、新しい試みをおこないました。



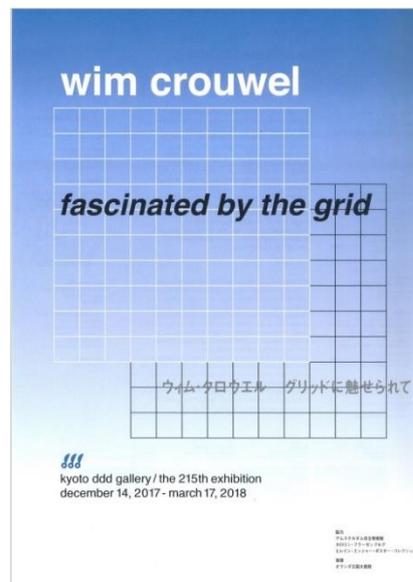
■第 215 回 ウィム・クロウエル グリッドに魅せられて

会期：平成 29 年 12 月 14 日(木)～2018 年 3 月 17 日(土)

入場者：1,348 名、一日平均 19 名

オランダのグラフィックデザイナー、ウィム・クロウエルの業績の全容を伝える日本初の展覧会を開催しました。クロウエルは、アムステルダム市立美術館の仕事のほか、実験的なニュー・アルファベット、切手、そしてカレンダーのデザインでも高く評価されています。また、グリッドを活用した合理的かつシステムティックなデザインを推進してきました。

今回の企画展では、アムステルダム市立美術館の協力のもと、クロウエルの業績を顧み、その詩情と美学の統合とともに、半世紀にわたる一貫性のある作品づくりを紹介しました。



(3) CCGA 現代グラフィックアートセンター(福島)の展示

〒962-0711 福島県須賀川市塩田宮田 1

午前 10:00～午後 5:00(入館は午後 4:45 まで)

一般=300 円 / 学生=200 円 / 小学生以下と 65 才以上、障害者手帳をお持ちの方は無料。

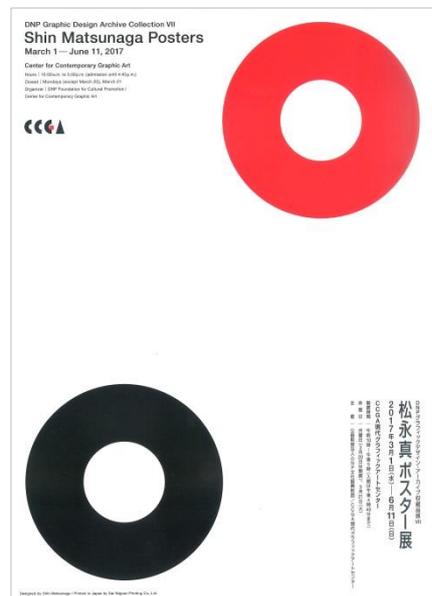
■第 71 回 DNP グラフィックデザイン・アーカイブ収蔵品展 VII

松永真ポスター展

会期: 平成 29 年 3 月 1 日(水)～6 月 11 日(日)

入場者: 877 名 一日平均 9.9 名

日本を代表するグラフィックデザイナー松永真氏の半世紀にわたる多彩な業績を、人間や世界に対する彼のまなざしがうかがえるポスター作品を中心に、パッケージや CI のデザインも加えて紹介しました。この展覧会では、単なる表層の表現にとどまらず、対象の核になるメッセージを深く分析しそれをシンプルに表現するという、一貫した松永氏のデザイン哲学に触れられるような展示を目指しました。

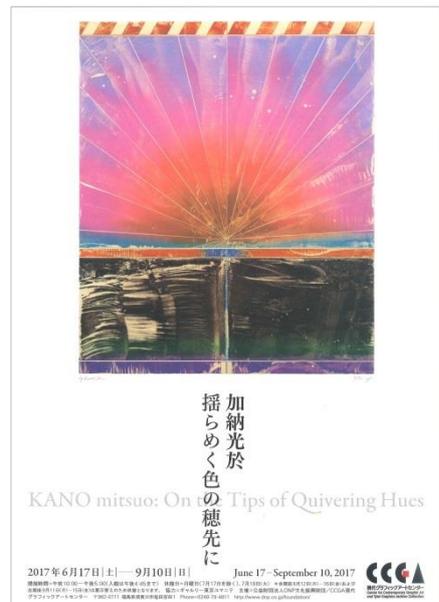


■第 72 回 加納光於—揺らめく色の穂先に

会期: 平成 29 年 6 月 17 日(土)～9 月 10 日(日)

入場者: 908 名 一日平均 12.3 名

1950 年代末より活躍する美術家・加納光於の版画回顧展です。加納氏の初期から現在にいたるまで、その創作活動におけるさまざまな局面で大きな役割を果たしてきた版画作品を中心に約 120 点を展示し、この類まれな作家の作品哲学に迫りました。

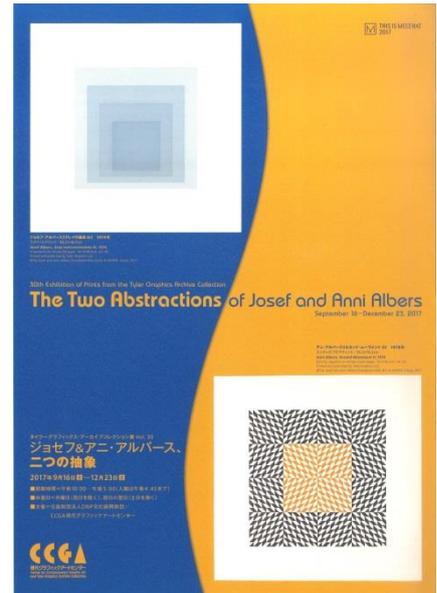


■第73回 ジョセフ&アニ・アルバース、二つの抽象
タイラーグラフィックス・アーカイブコレクション展 Vol.30

会期：平成29年9月16日(土)～12月23日(土)

入場者：781名 一日平均9.3名

ジョセフ・アルバースとアニ・アルバースの夫妻による幾何学的抽象を用いた主に晩年の版画作品を展示し、夫妻が生涯を通じて追及した、色彩や形態の表現の到達点を見ていただく展示をおこないました。あわせて戦後の日本のグラフィックデザインにおける幾何学的抽象表現を用いた作品の小展示を行い、この分野にアルバース夫妻が与えた影響を検証しました。



■特別展「第29回田善顕彰版画展」

主催：須賀川商工会議所青年部

後援：須賀川市、須賀川市教育委員会他

協力：公益財団法人DNP文化振興財団、(一社)CWAJ

会期：平成30年2月4日(日)～2月12日(月)

入場者：388名 一日平均43.1名

須賀川在住の小中学生対象版画コンクール受賞作品展。

約2,800点の応募作から選ばれた田善賞をはじめとする入賞作および入選作、計約250点を展示しました。

2月4日の表彰式には橋本克也市長、柳沼直三教育長、CWAJ役員ほかが参加されました。



第29回
田善顕彰版画展
(須賀川市内小・中学校版画展)

【作品展示期間】平成30年2月4日(日)～2月12日(月)
午前10時～午後5時 ◎2月12日(月)は午後3時まで

【表彰式】平成30年2月4日(日) 午前10時～11時

会場のご案内
CCGA現代グラフィックアートセンター
〒962-0711 福島県須賀川市塩田字高田1番地
(宇津線センタービル2階入口)
Tel 0248-79-4811

主催 須賀川商工会議所青年部
協力 公益財団法人DNP文化振興財団 一般社団法人CWAJ
問い合わせ先 須賀川商工会議所青年部事務局
須賀川市東町59-25 TEL 0248-79-2124 FAX 0248-79-2127

3 教育・普及関連事業

(1) ギャラリートーク(セミナー)

展覧会の開催に合わせて23回のギャラリートークを開催しました。

ggg(東京)会場:12回 691名 / ddd(京都)会場:9回 404名 / CCGA(須賀川)会場:2回 154名

ギャラリートークは、会場のセミナー会議室、展覧会場、周辺施設(大学)などを使って、展示作家、キュレーターの方々に、講演形式、対談形式などでグラフィックデザイン、アートへの思いを語っていただき、グラフィックアート、デザイン文化の普及促進につなげています。

セミナーのインターネット中継をおこなうことで、不特定多数の方の参加機会が増加しています。

CCGA(福島)では、来館者の希望に応じて無料のギャラリー解説を行なっています。



(2) 版画工房(CCGA/ワークショップ)

CCGAを版画鑑賞および版画教育の拠点とするために版画工房を開設し、以下の講座を開講しました。

●メゾチント講座

日時: 5/13(土)、5/21(日)、5/27(土)、6/3(土)

計4日間 各日11:00~16:30

講師: 大森弘之氏(版画家)

概要: 銅版画の一種であり、版画家・長谷川潔らが現代に甦らせたことでも知られるメゾチント技法の講座を CCGA 版画工房では初めて開催。

受講者数: 8名(11名応募)



●須賀川商工会議所青年部向けエッチング講座

日時: 6/29(木)、6/30(金)

計2日間 各日18:00~20:00

講師: CCGA 学芸員

概要: 須賀川商工会議所青年部・田善顕彰版画展実行委員向けのエッチング体験講座。2013年に続いて2回目の実施。

受講者数: 8名



●木口木版でカードづくり

日時: 11/18(土)、11/25(土)、12/2(土)、12/9(土)

計4日間 各日11:00~16:30

講師: 野口和弘氏(版画家)

概要: 木口木版と亜鉛凸版を用いたクリスマスカードや年賀状の制作(2015年にも同内容にて開催)

受講者数: 10名(13名応募)



●版画工房一般開放

ワークショップ開講日以外の土曜日に工房を一般に開放しています。

(1、2月は冬期休館)

(3) ggg Books

●ggg Books を発行しました。

『ggg Books -121 ロマン・チェシレヴィチ』: 1,165 円、1500 部

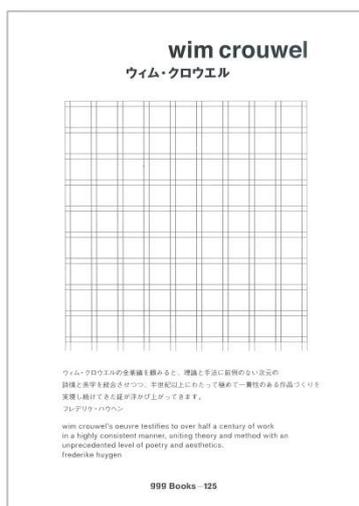
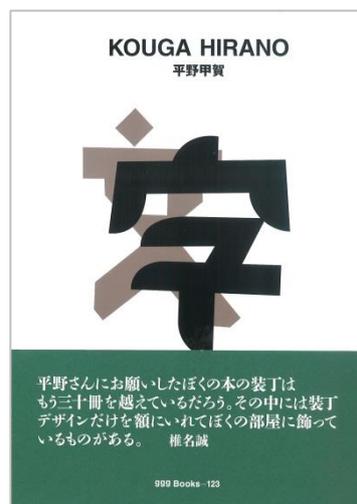
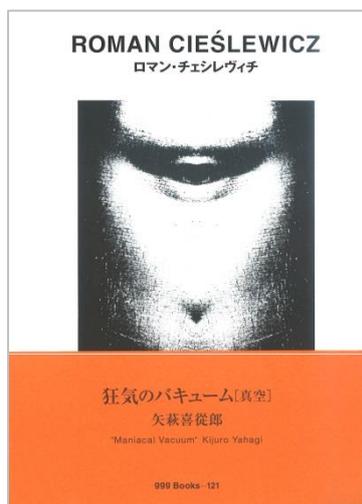
『ggg Books -122 フィリップ・アペロア』: 1,165 円、1500 部

『ggg Books -123 平野甲賀』: 1,165 円、2000 部

『ggg Books -124 白井敬尚』: 1,165 円、1500 部

『ggg Books -125 ウィム・クロウエル』: 1,165 円、1500 部

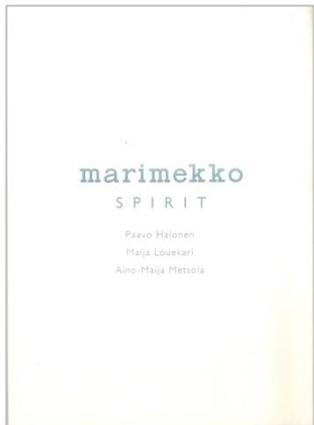
ggg Books は電子書籍版も発行しました。



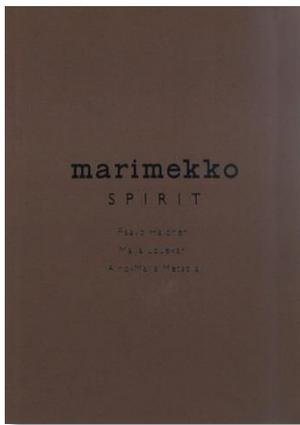
なお、このうち 10 月までに発行された 4 点が第 59 回全国カタログ展において日本商工会議所会頭賞【図録部門】を受賞しました。

(4) 図録等の発行と頒布

●マリメッコ・スピリッツ(ggg)、加納光於—揺らめく色の穂先に(CCGA)の開催に合わせて、図録、作品解説を作成しました。



外箱



書籍本体



内容

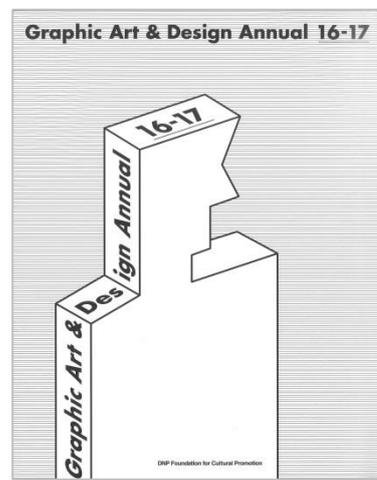


表紙



内容

●アニュアルレポート



4 国際交流関連事業

(1) AGI(国際グラフィック連盟)日本会員事務局サポート

●9月17日～23日、AGI パリ総会 2017に参加しました。パリでの開催ということもあり、AGI 総会始まって以来の参加人数(約240名)となりました。

建築博物館、オデオン劇場、ポンピドゥーセンターなど毎日場所を変えての講演が行われ、日本会員の講演準備や海外会員とのコミュニケーションを支援し、非参加会員への総会報告を行ないました。

●AGI 国際事務局より毎月配信される速報の翻訳と配信をおこないました。



(2) 寄贈作品展示

●ノイエミュージアム 田中一光ポスター作品展

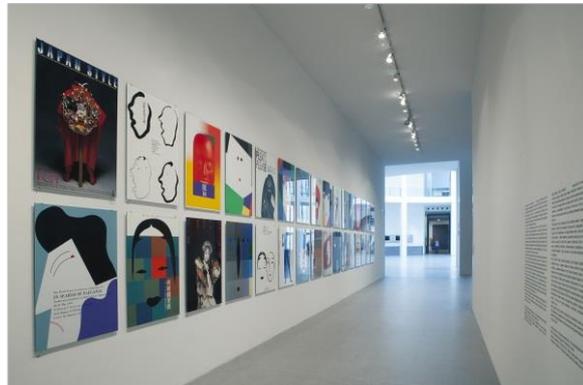
2012年に財団からノイエザムルング(ドイツ ミュンヘン)に寄贈した田中一光ポスター作品約30点による展覧会が2017年10月26日～2018年2月18日まで姉妹館のノイエミュージアム(ドイツ ニュルンベルグ)にて開催されました。期間中の12月7日、田中一光に関するトークイベントが財団共催で開催されました。

このトークイベントでは財団研究助成事業で採択された高木穂子氏(同志社女子大准教授)が講演をおこないました。



●ノイエザムルング 田中一光「顔」展

同じく当財団から寄贈された田中一光ポスター作品のうち、「顔」をテーマとした展覧会が、ノイエザムルング(ドイツ ミュンヘン)にて 2018 年 3 月 3 日から開催され、当初 6 月 17 日終了予定が好評につき 7 月 15 日まで延長されることになりました。



(3)企画展 上海巡回

ggg、京都 ddd ギャラリーで開催した「仲條正義 IN & OUT, あるいは飲 & 嘔吐」が上海に巡回開催されました。

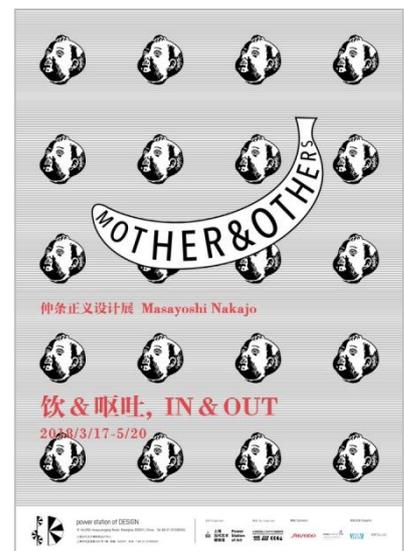
会期:2018 年:3 月 16 日~5 月 20 日

場所:上海当代藝術博物館(Power Station of Art)

主催:上海当代藝術博物館

共催:公益財団法人 DNP 文化振興財団

3 月 16 日のオープニングには仲條氏と葛西薫氏の対談トークイベントが開催され、約 300 名が参加されました。



5 研究助成関連事業

(1)平成29年度年間研究助成プログラムを実施しました。

●募集テーマ

A部門《グラフィックデザイン、グラフィックアート全般をテーマとする研究》

グラフィックデザイン、版画などのグラフィック文化に関する幅広い学問領域の研究。例えば、美術史デザイン史、美学芸術学、博物館学アーカイブズ学、美術教育学、比較文化論、画像工学、技法材料・保存科学、心理学、法学、経済学など。

B部門《グラフィックデザイナー、田中一光に関する研究》

DNP文化振興財団が保有する田中一光アーカイブ（作品、写真、書類、蔵書等、5万点を超える資料群）を活用した、田中一光に関する研究。



●平成29年度採択研究

17件（A部門16件、B部門1件）

No.	部門	テーマ	氏名	所属	助成額
1	A	言語・言葉:オイゲン・ゴムリンガーのタイポグラフィと具体詩について	Simon Mager	ローザンヌ州立美術学校 助手	500,000
2	A	グラフィック・メディシン研究—「情報」と「情動」を繋ぐ視覚表現メディア文化	中垣恒太郎	大東文化大学経済学部 教授	300,000
3	A	デザイン保護法制におけるグラフィックデザイン—意匠法における保護対象としての位置づけを中心に—	末宗達行	早稲田大学大学院法学研究科 早稲田大学知的財産法制研究所 博士後期課程	500,000
4	A	グラフィカルユーザインターフェースの法的保護について	吉田悦子	大阪大学知的財産センター 特任研究員	500,000
5	A	ユーゴスラヴィアのグラフィック文化—第二次世界大戦中のパルチザン地下印刷所と「対ファシズム」表象—	山崎佳夏子	ベオグラード大学哲学部美術史学科 博士課程	300,000
6	A	植民地的近代のイメージ: 植民地期朝鮮の広告とグラフィックデザイン	Yongkeun Chun	ロイヤル・カレッジ・オブ・アート 博士課程	500,000
7	A	生成・消滅・再生する切り紙のかたち—日本と世界の比較文化研究	丹羽朋子	人間文化研究機構 特任助教	500,000

8	A	エンブレムブックの中南米のキリスト教美術への影響	伊藤博明	専修大学文学部 教授	500,000
9	A	20世紀初頭の英国前衛美術と印刷メディアの発展—ヴォーティシズムのドローイングを手掛かりとして	要真理子	跡見学園女子大学 准教授	300,000
10	A	近代日本におけるインド市場向け商標デザインの生成	福内千絵	関西学院大学先端社会研究所 選任研究員	500,000
11	A	丸紅商店染織美術研究会に関する研究	岡 達也	京都工芸繊維大学美術工芸資料館 技術補佐員	500,000
12	A	17世紀フランス C.-F.メネストリエによる「像の哲学」—グラフィック文化起源の探求	川野恵子	大阪大学 助教代理	300,000
13	A	独立以前のエストニアにおける風刺画と文芸新聞及び雑誌の相関	有持 旭	広島市立大学 専任講師	300,000
14	A	芹澤銑介『絵本どんきほうて』と民藝運動	Ana Trujillo Dennis	コミーリヤス・ポンティフィカル大学(マドリッド) 講師	300,000
15	A	小中学校デジタル理科教科書における「技術」のイメージに関する研究	郡司賀透	静岡大学大学院教育学領域 准教授	250,000
16	A	香港デザインストーリー:タイポグラフィの発展に関する研究	Amic G. Ho	香港公開大学 助教	250,000
17	B	田中一光の切り絵デザインの造形: 田中一光アーカイブ資料から(2)	深谷 聡	奈良県立美術館 主任学芸員	300,000

●平成28年度採択研究継続助成(7件)

No.	部門	テーマ	氏名	所属	助成額
1	A	ディスレクシアに特化した和文書体と書体カスタマイズシステムの研究	朱心茹	東京大学大学院 教育学研究科 修士課程	500,000
2	A	建築の表象とグラフィックデザイン 建築展の分析を中心に	保坂健二郎	東京国立近代美術館 主任学芸員	450,000
3	A	視覚文化の日韓比較研究—女性妖怪の視覚イメージを素材として—	朴美暎	京都大学 文学部 非常勤講師	500,000
4	A	グラフィックデザイン史における粟津潔の役割: 金沢 21 世紀美術館所蔵作品・資料をもとに建築、映像・写真との関わりから再考する	高橋律子	金沢 21 世紀美術館 学芸員	300,000

5	A	絵とともに語ることばの未来 多言語表記民話絵本のブックデザイン	山本史	京都市立芸術大学 美術学部デザイン科ビジュアルデザイン専攻 非常勤講師	500,000
6	A	板木から見た職人技の解明	安藤真理子	同志社大学 文化遺産情報学研究センター 嘱託研究員	400,000
7	A	クーパー・ヒューイト国立デザイン美術館およびクーパー・ユニオン・ハーブ・ルバリン研究センターの日本のグラフィックデザイン・コレクション	野見山桜	クーパー・ヒューイト スミソニアンデザインミュージアム リサーチフェロー 東京国立近代美術館工芸課デザイン室客員研究員	250,000
8	A	パブリックイメージ形成の場としての古代ギリシャ陶器	田中咲子	新潟大学 教育学部 准教授	500,000

●平成30年度新規採択スケジュール

4月初旬 告知開始

5月1日～7月17日 申請期間

7月17日 募集締め切り

8月31日 平成29年度採択研究中間報告書締切

9月14日 審査委員による一次審査(書類による審査)完了

9月27日 審査委員会による二次審査開催。採択研究を選考

10月上旬 採択者への通知、ウェブ上での公表

●審査委員メンバー

柏木 博(委員長).....武蔵野美術大学名誉教授

前田富士男.....中部大学客員教授、慶應義塾大学名誉教授

井口壽乃.....埼玉大学副学長

建畠 哲.....多摩美術大学学長、埼玉県立近代美術館館長

永原康史.....多摩美術大学教授

並木誠士.....京都工芸繊維大学美術工芸資料館館長



(2)平成29年度協賛助成実績（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

	対象	主催	年月	金額	備考
1	第29回すかがわ国際短編映画祭へ協賛	すかがわ国際短編映画祭実行委員会／須賀川市教育委員会	2017/5	30,000円	短編映画フェスティバルおよびコンペ
2	須賀川地区高校美術部研修会	須賀川地区高校美術部連盟	2017/7	50,000円	CCGAにて開催の須賀川地区高等学校美術連盟研修会の送迎バス運行費
3	第29回田善顕彰版画展へ協賛	須賀川商工会議所青年部／須賀川市教育委員会後援	2018/2	50,000円	須賀川出身の江戸期の銅版画家、亜欧堂田善(あおうどうでんぜん)顕彰を目的とする、市内小中学生対象の版画コンクール

(3)会員参加

事業目的にふさわしい以下の団体の会員となっています。

1. 東京イラストレーターズ・ソサイエティ / 賛助会員
2. 東京アートディレクターズクラブ / 賛助会員
3. 公益社団法人日本グラフィックデザイナー協会 / 賛助会員
4. 東京タイプディレクターズクラブ / 法人・団体会員
5. 公益財団法人助成財団センター / 会員
6. 全国美術館会議 / 会員館(CCGA現代グラフィックアートセンター)

6 会議の開催

●第16回理事会

(平成29年5月23日 火曜日)

提案(1)平成28年度(4月1日～平成29年3月31日)事業報告および収支決算について

提案(2)評議員会の招集について

●第8回 評議員会

(平成29年6月8日 木曜日)

DNP市谷加賀町ビル 17階 会議室

東京都新宿区西市谷加賀町1-1-1

第1号議案 議長の選任について(決議事項)

第2号議案 議事録署名人選出について(決議事項)

第3号議案 平成28年度(4月1日～3月31日)事業報告書について(報告事項)

第4号議案 平成28年度(4月1日～3月31日)決算報告書について(決議事項)

●第17回 理事会

(平成 29 年 6 月 8 日 木曜日)

DNP市谷加賀町ビル 17階 会議室

東京都新宿区西市谷加賀町1-1-1

第1号議案 平成 28 年度利益相反取引の承認について(決議事項)

第2号議案 理事長および専務理事の業務執行状況について(報告事項)

●第18回理事会

(平成 29 年 12 月 20 日 水曜日)

提案 新事務局長選任の件

●第19回理事会

(平成 30 年 3 月 19 日 月曜日)

DNP銀座ビル3階 302、303 会議室

東京都中央区銀座7-7-2

第1号議案 寄付金の受入について(決議事項)

第2号議案 事業計画、予算計画について(決議事項)

第3号議案 利益相反取引の承認について(決議事項)

第4号議案 資金調達及び設備投資の承認について(決議事項)

第5号議案 役員候補者の推薦について(決議事項)

第6号議案 審査委員の選任について(決議事項)

第7号議案 評議員選定委員の選任について(決議事項)

第8号議案 研究助成プログラムの助成金交付について(決議事項)

第9号議案 協賛計画について(決議事項)

第10号議案 理事長および専務理事の業務執行状況の報告について(報告事項)

以上